

令和2年度事業報告

我が国では、近年、記録的な台風や豪雨により全国各地で甚大な水害が発生している。想定を超える降雨により、内水の浸水被害のみならず、近年経験しない河川の越水や破堤による外水氾濫が頻発し深刻な被害をもたらしている。

河川ポンプ等の内水排除施設は人々の生命、財産を浸水被害から守る河川管理施設として重要な役割を担っているが、激甚化する水害に対し、より一層確実な機能発揮、的確な運用が求められている。

しかしながら、近年、河川ポンプ施設では、施設の老朽化や運転操作員等の高齢化、確保難などに悩むとともに、ICTなどの新技術の導入・活用のための取組みが進まない等の大きな課題に直面している。

当協会の令和2年度事業は、これらの状況に対して、施設管理者等と連携を図りつつ、激甚化する水害への対応や施設老朽化対策等の課題への取組、ICT等活用に向けた課題の検討など、技術の向上、人材育成及び現場の支援に向けた活動を進め、国内のポンプ施設の確実な運転・維持管理の実現に貢献することを目指した。具体的には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を考慮しつつ、河川ポンプ施設技術の調査研究、ポンプ施設管理技術者資格の活用及びポンプ施設の建設・維持管理における諸課題への取組みを柱として、以下のとおり事業を実施した。

また、公益目的支出計画に基づく事業は引き続き着実に実施している。

1. 総会・理事会

1. 1 令和2年度定時総会

令和2年6月16日 令和2年度の定時総会を開催し次の議案について審議し承認された。

議案	第1号議案	令和元年度事業報告の件
	第2号議案	令和元年度決算報告の件
	第3号議案	役員選任の件
報告		公益目的支出計画実施報告書の報告

1. 2 理事会

令和2年5月11日（書面決議）

令和2年度定時総会議案について審議決定した。

令和2年度定時総会の招集方法を審議決定した。

令和2年度運営委員7名を選出した。

令和2年5月21日（書面決議）

令和2年度定時総会の開催日程の変更を審議決定した。

令和2年6月16日

会長、理事長及び業務執行理事を選任した。

令和2年12月2日

令和2度上半期事業及び予算執行について審議した。

令和3度事業計画及び予算について審議決定した。

令和3度委員会の設置について審議決定した。

令和3度総会の日程について決定した。

2. 運営委員会

(1) 理事会に提出する議案の企画・立案

協会運営の基本的事項の審議及び令和2年度の理事会に提出する案件の企画・立案を行った。

(2) 災害への対応

東北、関東、北陸、中部、近畿、中国の各地方整備局及び北海道開発局と災害協定を締結しており、協定に基づき各地区の関係会員による実施体制を提出した。

なお、新型コロナウイルスの影響で災害対策の実動訓練は行われなかった。

(3) 意見交換会等の実施

ポンプ施設に関して、配置技術者、維持管理対応等の課題について国土交通省との意見交換を行った。

令和2年 7月 9日 国土交通省本省

令和2年 10月28日 近畿地方整備局

令和2年 11月16日 北海道開発局

令和2年 12月10日 関東地方整備局（文書提出）

(4) その他協会運営に関する審議

国土交通省の社会資本整備審議会関係小委員会のテーマに関して、情報交換を行った。

3. 委員会

3.1 広報研修委員会

(1) 機関誌「ぽんぷ」の発行

公益活動の一環として、機関誌「ぽんぷ」を年2回発行し、国土交通省、地方公共団体、関係法人、会員等に配布している。

令和2年度は、河川ポンプ設備の潤滑油分析による傾向管理技術、ウェアラブルカメラによる遠隔施工管理の試行、機械設備へのCIM導入の取組み等の記事を掲載した64号を10月に、機械設備のBIM/CIM作成の留意点、寒冷地の排水機場の維持管理、建設技術展示館のリニューアル等の記事を掲載した65号を3月にそれぞれ2,050部発行した。

(2) ホームページの拡充

ホームページの機能等を活用し、運用の充実を図った。

(3) 技術図書の刊行

「ポンプ施設の建設と管理」の改訂版の刊行準備を行った。

- (4) 国・地方公共団体等の講習会、研修への協力
国土交通大学校、地方整備局等が実施する技術研修への講師の協力派遣を行った。
令和2年 7月29日 北陸地方整備局
令和2年 11月11日 国土交通大学校
令和2年 11月18日 国土交通大学校
令和2年 11月24日 東北地方整備局
- (5) ポンプ施設技術講習会の実施
9月に全国5会場でポンプ施設技術講習会を予定していたが、新型コロナ対応のため中止した。
- (6) 技術研修会等の実施
技術研修会、技術講話会は、新型コロナ対応のため中止した。

3. 2 技術開発委員会

- (1) 河川ポンプ施設に関する課題解決に向けての検討
河川ポンプ施設の建設・維持管理における諸課題について、意見交換会に向けての検討を行った。
- (2) 河川ポンプ施設に関する要望、ニーズに関する調査
河川ポンプ施設の現場や施設管理者のニーズに関する調査を行った。
- (3) ICT、CIM等新技术の活用によるポンプ施設の機能確保、向上の検討
ポンプ施設の機能確保、向上のためのICT、CIM等の新技术活用について、情報収集及び国土交通省からの意見照会への対応を行った。

3. 3 規格調査委員会

- (1) ポンプ施設に関する技術講習テキストの改訂検討
学習教材として利用されている「ポンプ施設の建設と管理」の改訂の執筆編集を行った。
- (2) ポンプ設備の更新時増量検討
排水ポンプ設備更新時に既存施設を継続使用しつつ排水量を増量する手法について、過去に協会活動として実施した高流速吸水槽の開発成果や各社の動向を整理して実現可能性を検討した。
- (3) 国際交流の推進
海外の研究機関、行政機関との技術交流を予定したが、諸外国の新型コロナ感染状況により令和2年度の調査団派遣は中止した。

3. 4 維持管理委員会

- (1) 操作技術向上検討会等の実施
排水機場の施設管理者及び操作員を対象とした操作技術向上検討会等を行った。
令和2年 8月25日 兵庫県管内

令和2年 9月29日 北海道開発局管内

- (2) ポンプ施設の運転操作等の課題に関する検討
ポンプ施設の機能確保、故障発生時の迅速な復旧のために、ポンプ施設の運転操作、点検・診断・修繕等にかかる課題について改善策の検討を行った。
- (3) 河川ポンプ施設に関するデータ管理に関する検討
河川ポンプ総覧のデータ活用を検討した。

3. 5 資格制度委員会

ポンプ施設管理技術者の資格制度に関する検討を行った。
また、国土交通省の1級ポンプ施設管理技術者の民間技術者資格登録更新の申請を行い、令和3年2月に登録が更新された。

4. ポンプ施設管理技術者の試験及び講習の実施

- (1) 令和2年度ポンプ施設管理技術者資格試験の実施
令和2年10月25日(日)、札幌、東京、名古屋、大阪、高松、福岡の全国6会場で試験を実施した。
受験者数 153名(1級73名、2級80名)
合格者数 94名(1級42名、2級52名)
- (2) 令和2年度ポンプ施設管理技術者講習の実施
講習資料として「ポンプ施設管理技術者講習テキスト2020」を作成し、令和2年5月にポンプ施設管理技術者講習を自宅学習方式で実施した。
〔本講習は、継続学習制度の認定学習プログラムに登録〕
受講者数 747名
- (3) ポンプ施設管理技術者に関する広報
ポンプ施設管理技術者制度の広報を行った。
- (4) 試験審査関係委員会
 - ① 試験委員会
令和2年度資格試験の試験問題原案の作成、監修、採点等を行った。
 - ② 審査委員会
令和2年度資格試験の試験問題及び合格基準等についての審議を行った。